

学校だより 12月号

平成 28 年 12 月 1 日
鴻巣市立小谷小学校

小谷っ子

TEL 048 (548) 1004
FAX 048 (547) 1467
URL <http://koya-e.konosu.ed.jp>
e-mail koya-e@city.konosu.ed.jp

【学校教育目標】夢・希望にあふれる心豊かな児童の育成

「体験を通して学ぶことの大切さ」 ～できたらすぐにほめ、期待することが次の行動につながる～

校長 渡辺 勝徳

先週、東京ではこの時期の降雪としては54年ぶりとなる雪が降り、冬の到来を感じています。先日の小谷小まつりでは、保護者の皆様や地域の皆様にはご多用な中おいでいただき、ありがとうございました。また、市内音楽会や持久走大会への応援、6年生の埼玉県なわとび選手権大会への送迎や応援など、ありがとうございました。

はじめに、今回は5年生が電車内でのマナーが良かった話をします。11月に市内音楽会があり、5年生が出場した時のことです。会場はクレアこうのすでしたので、北鴻巣駅から鴻巣駅まで電車を利用しました。学校を出発するときに、私から「電車を利用して会場まで行くのはルールやマナーを勉強するいい機会だから、ルールやマナーをきちんと守ろう」という話をしました。通勤・通学時間とも重なる時間だったので、電車の中は会社員や学生がたくさん乗ってこられるだろうと思い、電車に乗る直前に「電車の中はなるべくおしゃべりをしないで行きましょう。どうしても話さなくてはならない時は、小さな声で周りの人に迷惑にならないようにしましょう。4分間で着くから、4分間チャレンジだよ」と話しました。電車に乗る前にみんなでおしゃべりしていた29名(1名欠席でした)は、電車に乗った途端、シーンと静かになりました。電車の中は案の定、会社員や学生が黙ってスマホを見たり、目を閉じていたりして静かです。私も電車で通勤しているので、自分が通勤途中だったら、子どもたちが大勢乗ってきたら、うるさくなるぞと、つい思ってしまいます。なぜかという、児童や生徒が周りのことにかまわず、大声でしゃべったりしている場面に何回も遭遇しているからです。ところが、5年生たちは一言もしゃべらず、空いている席にも遠慮して座らずに鴻巣駅に電車が着いたのでした。これには、乗っていた人たちが、5年生たちが静かに乗っていたことに、逆にびっくりしてこちらを見ているように感じました。鴻巣駅で電車から降りてすぐに私から「マナーが良かったね。すごいぞ!」とほめました。すると、帰りの電車でも同じように静かに過ごすことができました。5年生は体験を通して、電車の中の過ごし方のマナーを学んでくれたんだと思います。こうした体験を積み重ねていくことが、マナーを身につけていくことにもつながるのではないかと思います。

もう一つ、マナーの良かった話です。こちらは6年生の修学旅行での話です。お風呂の時間に男子の入浴指導(浴場の使い方を指導します)をしに行きました。5年生のときの林間学校も入浴指導にいき、そのときに「『来た時よりも美しく!』を合言葉にお風呂に入ろうね」と指導しました。子どもたちは、出るときに風呂場のイスや桶をきれいに並べ、シャワーをきちんと壁にかけ、シャンプーやリンスもきれいに並べてお風呂を後にしました。それを見て、「すごい、100点満点だね」とほめました。修学旅行では、子どもたちの方から「来た時よりも美しくですね」という声が出ました。そして、今年も彼らは100点満点でした。このように、体験を通して学び、できたときには機を逃さずにほめることが大事だと思います。そして、期待してあげることがやる気にもつながるのだと思います。

マナーのよい子はどこに行っても通用します。皆に好かれます。これからも学校全体で指導したことができれば、そのとき、その場で子どもたちをほめていきたいと思います。

小谷っ子応援団!(6) 小谷長寿会

小谷長寿会の皆さんには、年に2～3回小谷小学校の花壇に来ていただき、飼育・栽培委員会の児童たちとともに花植えを手伝っていただいております。おかげで、北門や東門の付近の花壇は季節の花できれいになっています。また、5月には明用集会所で世代間交流を行い、児童とお年寄りの皆さんとで、出し物を見合ったり、一緒にお菓子を食べたり、お茶を飲んだりして楽しいひと時を過ごしています。さらに、3学期には長寿会の皆さんに講師になっていただき、昔の遊びについて低学年の児童たちが教えていただいております。そのほか、運動会や小谷小まつりに長寿会の皆さんをご招待したりして子どもたちの成長の様子を見ていただいております。

皆さん、いつもありがとうございます。これからも小谷っ子と交流してくださいね!

